

研究演題名

実地臨床における関節リウマチに対するアバタセプト、サリルマブ治療による有効性、有害事象の比較検討

(1) 研究の概要

研究期間 : 倫理委員会承認後～2028年12月31日

研究代表者 : 埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科 教授 秋山 雄次

実務担当責任者 : 新座志木中央総合病院 院長 林 淳慈

(2) 研究の対象

2015年1月1日から2023年12月31日の期間に当院リウマチ膠原病科または下記共同研究機関を受診し、関節リウマチの診断のもと、アバタセプト（オレンシア）あるいはサリルマブ（ケブザラ）で治療された患者さんを対象としております

(3) 研究の目的

オレンシア、ケブザラはともに関節リウマチに対して高い有効性が示されている完全ヒト型（動物のタンパク質を含まない）の生物学的製剤ですが、作用機序は全く異なります。今回、たくさんの患者さんの薬剤の効き方や副反応を解析することによって、日常診療における両薬剤の効果や副作用の違いを含めた特徴を明らかにし、その結果を元に、有効性の向上や有害事象の減少など今後の診療に役立てることを目的としています

(4) 研究の方法（研究に使用する試料・情報の項目を含む）

収集項目 : 性、生年月、関節リウマチ罹病期間、分子標的治療履歴（生物学的製剤、JAK 阻害薬）、合併症（呼吸器疾患・慢性腎臓病・シェーグレン症候群・その他）、圧痛関節数、腫脹関節数、医師全般評価、患者全般評価、身体機能障害評価指標、副腎皮質ステロイド投与量、MTX 投与量、副作用情報、脱落の理由、検査データなど

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、個人情報関連法令・通知などを順守し個人広報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表、学術雑誌などで公表する場合があります。
発表内容には個人を識別できる情報は一切公表しません。

(7) 問い合わせ先

この研究は、直接の同意はいただかずにこの掲示によるお知らせをもって同意をいただいたのとして実施されます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱いその他研究に関するご質問は以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院

〒352-0001 埼玉県新座市東北一丁目7番2号

TEL : 048-474-7211 (代表)

担当者 : 整形外科 院長 林 淳慈